

別記

令和5年度 奈良県観光データ「見える化」推進事業
業務委託に係る審査基準

審査項目		審査基準	配点
業務遂行能力	類似業務の実績 【様式3】	・事業の実施に関して、十分な実績があるか。	5
	業務実施体制 【様式5,6,7】	・業務が確実に実施できる体制となっているか。 ・個人情報等の管理上の効果的な対策について記述されているか。	5
	実施スケジュール 【様式7】	・スケジュールが適切で、実現可能な体制となっているか。	5
企画提案内容	観光実態（データ）の「見える化」 【様式8】	・当事業の目的に沿った提案となっているか。 ・観光関連事業者・団体にとって有用な情報の選定について、妥当な提案がなされているか。 ・活用するデータやそのデータ取得方法が具体的に提案され、それらは妥当性、実現性、独自性の観点で優れているか。	20
	モデルプロジェクトの選定と伴走支援 【様式9】	・モデルプロジェクト選定で重視する点について、妥当な提案がなされているか。 ・架空のモデルプロジェクトにおける課題の設定及びその解決手法が具体的に提案され、それらは妥当性、実現性、独自性の観点で優れているか。 ・解決手法について「データ活用」の効果について、妥当な提案がなされているか。	15
	データ活用勉強会 【様式10】	・勉強会の対象者、内容・テーマ、講師、実施方法、運営方法が具体的に提案され、それらは妥当性、実現性、独自性の観点で優れているか。	15
	事業報告会 【様式11】	・報告会の対象者、内容・テーマ、講師・登壇者、実施方法、運営方法が具体的に提案され、それらは妥当性、実現性、独自性の観点で優れているか。	5
	総合アドバイザーの選定と連携 【様式12】	・総合アドバイザーの候補者案について、経歴や資格、奈良県観光業界との関わり、事業実績（場所・時期・内容・成果）を勘案して、妥当性、実現性、独自性の観点で優れているか。 ・総合アドバイザーが担う役割について、適切に整理されているか。	10
	奈良県の観光が抱える課題とその解決案に対する考察 【様式13】	・奈良県の観光が抱える課題とその解決案について、奈良県の特徴を理解し、国や世界の観光動向、アフターコロナ時代の観光の展望を踏まえて、「データ活用、デジタル活用」の視点から、深く考察されているか。	10
経費	経費の妥当性 【様式14】	・経費の内訳、範囲が明確で、提案内容に見合った金額となっているか。	10
		合計	100

○提案者が2者以上ある場合は、各審査員による合計点が、満点の6割以上の者のうち最も高い点を獲得した者を契約候補者として選定します。

○提案者が1者の場合は、各審査員による合計点が、満点の6割以上で、かつ審査員の合議により認められた者を契約候補者として選定します。